

前期終業式 あいさつ

今日で前期の最終日を迎えました。一つの区切りを迎えます。これまでの反省と後期に向けての新たな決意をするきっかけにしてほしいと思います。

一度前期の自分をふり返りましょう。

まず、今年は新型コロナウイルスの関係で大変なスタートの年となりました。4月・5月と新学期がスタートしてすぐに2か月間も休校となりました。学校に来られず、家で過ごす日々が続きましたが、自分で考えて、計画を立て、自分の責任で勉強ができたでしょうか？いつまでも先生や親に叱られないと学習できないようでは、恥ずかしいと思います。

きっとその頃の過ごし方が、今回もらった通知表の成績にも大きく影響を及ぼしたと思います。勉強は自分自身を成長させるために行うものです。昔から「学問に王道なし」といって、どんな身分の高い人も、どんなお金持ちでも学力は自分が努力をする以外には身に付きません。自分の努力なしにどれだけ大金を払っても勉強がわかるようにはなりません。逆に言えば、自分が努力さえすれば、金持ち・貧乏人関係なく、よい成績は収められます。ひいては、自分の努力しだいでいくらかでも将来の自分の希望や夢を実現していくことができます。特に日本は本人のやる気さえあれば貧しくても勉強できるしくみが整っているすばらしい国だと思います。

学習することは、生きている限り一生続きます。そして、わからないことほどつまらないことはありません。最後は自分で責任を負っていくことになります。好きなことだけで、今だけ楽しいのではなく、これからもずっと楽しい学校生活が続けられるように、今日学んでいることを今日のうちにしっかり身に付ける毎日の学習の習慣を付けてほしいと思います。後期では、全員が自覚をもって努力できる子にぜひなってください。

次に、先ほど今だけ楽しいのはいけないと話をしましたが、同じように自分だけ楽しいというのはいけません。学校生活は多くの人で協同生活しています。これは、みんなが大人になって働くようになって同じです。どんな職場で働くことになっても、自分一人で働くことはありません。周りのみんなと協力できないと、どんな仕事も務まりません。そのために学校でも社会に出てからもさまざまな約束事、ルールがあります。時間を守ること、そうじの時間は自分の役割を果たすこと、廊下は右側を歩くこと、授業中は勝手に立ち歩かないこと、先生に指名された子が答えを発言することなど、たくさんあります。それらの約束事を守れない子が出てくるとみんなが楽しいクラス、学校には絶対になりません。何度注意を受けても直らない子がいると、それこそいじめにつながったりします。そうなったら、自分だけでなく、みんながつまらなくなってしまう。少しずつわがまを我慢しながら約束を守ってほしいと思います。

そういう意味では、今年から3～6年生下校で一斉に運動場に並ぶようになりましたが、みんなが時間を守るという意識をもって、5分前には「さよなら」ができる日が多いことは、とても素晴らしいと思います。そして、甚目寺小学校の子はそうじの時間に自分勝手に遊んでいる子はいませんね。これも素晴らしいです。ぜひ続けてください。

来週から後期が始まります。後期には、運動会や修学旅行、マラソン大会、3年生以上はまだ校外学習が残っています。おおくの楽しい行事がたくさんあります。今だけでなく、自分だけでなく、いつまでも、みんなも楽しい学校生活になるように努力・協力をしていきましょう。